

2025年11月13日

2025年10月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参・金融関連以外のスポット案件が少なく、昨年をやや下回る販売量となった。

巻取についても学参、生損保、金融を中心に昨年をやや上回る数量となった。

（前年比 平判 95.6% 巻取 104.4%）

再生紙平判は役所、官公庁関連、広報誌を中心に昨年をやや上回った。

巻取も広報誌関係の定期案件に加え、金融・保険関係が堅調に推移し、前年を若干上回った。

（前年比 再生上質平判 105.9% 再生上質巻取 102.7% 再生上質計 104.2%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 97.2%）

<A2 コート>

平判は、クリスマス関連の印刷物の動きが見られたが、スーパー、量販店等の流通関連と不動産関連のチラシの動きは鈍く、またカタログパンフ等商印関係の動きが停滞しており、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、昨年的大幅落ち込みの反動から動きが戻った状況だが、相変わらず継続的に雑誌やカタログ等が落ち込んでいる。マットは前年を大幅に上回ったが、グロスは前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 94.9% 巻取 118.2% 全体 98.1%）

<A3 コート>

食品デリバリー、金融関連等の案件で一部動きは見られたものの、教育関連及び不動産関連チラシが引き続き低調である。カタログ等の頁物の案件も減少傾向の為、平判は前年を上回ったが、巻取は前年を大きく下回った。

（前年比 平判 103.0% 巻取 84.2% 全体 91.5%）

<ノーカーボン紙>

巻取は官公庁案件や歳末商戦の申込書の数量減、平判は生損保系の動きも低調で、全体的にスポット案件もなく巻平共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 89.8% 巻取 88.7%）

<上質フォーム>

前年あった衆院選入場券など選挙特需の反動あり。民間の目立ったスポット案件もなく、前年を大幅に下回った。

（前年比 85.9%）

<包装用紙>

特殊両更は書店ブックカバーの在庫積み増しに動きがあり、昨年を上回った。

両更晒は役所向け封筒に一部動きが見られ、昨年並みの数量となった。

純白ロールはスーパーマーケット、大型ショッピングモール向け等の包装用途が堅調で月平均の数量は上回ったが、好調であった昨年の数字には届かなかった。

包装紙全体では前年を下回った。

(前年比 97.9%)

<板紙>

コートボールは相変わらず物価高の影響が続いており、日用品をはじめ菓子類等食品関係も低調。また、メーカーから10月価格修正実施の発表があったが、仮需も見られなかった。

特板は医薬品・日用品で年末商戦向けに動きが有り前年を上回る。

高板は依然としてトレーディングカード需要が堅調なためほぼ横ばい。価格修正に向け積み増しの動きが見られ在庫量は大幅増。

チップボールは出版用途での落ち込みが続き低調であった。エンタメ系のスポット案件も振るわなかったが、貼箱用チップボールに動きが有り前年並みに推移。

(前年比 100.2%)